



# 国立医薬品食品衛生研究所 特別講演会(殿町#1)

日時: 2018年6月15日(金)16:30~18:00

場所: 国立衛研・2F共用会議室

講師: 矢澤真幸先生

(コロンビア大学メディカルセンター幹細胞  
研究所/アシスタントプロフェッサー)



講演名

「iPS細胞によって広がる稀少心疾患・  
不整脈への承認薬転用の可能性」

要旨

日本発でiPS細胞という新しいテクノロジーが生まれ10年あまりが経ち、再生医療や創薬の分野で新しい息吹が広がっています。これまで我々コロンビア大学の研究チームは、小児の致死性稀少難病（主に心臓病・不整脈）の新規治療法を見つけるため、様々な患者さんからiPS細胞を樹立し心筋細胞へ分化させ、それらの病気のメカニズムの解明取り組んできました。時にして、偶然の発見（セレンディピティー）が起こることがあります。幸運にも、我々のチームは、これまでに承認されている薬が致死性稀少難病のひとつ（ティモシー症候群）に転用できる可能性があることを見出すことができました。稀少難病の場合、ビジネスモデル・マーケットとして小さいことから大手の製薬会社のターゲットになることが非常に少なく、またその病気のメカニズム解明のために研究予算がつくことが非常に難しい状況が続いていました。そういった状況のなかで、承認薬の転用は稀少難病への一つのアプローチとなると期待しています。本講演では、論文未発表の内容を中心に、iPS細胞が開いた新しい可能性についてご紹介したいと思います。

お問い合わせ先

安全性生物試験研究センター 薬理部

〒210-9501 神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目25-26

担当: 諫田 泰成 (kanda@nihs.go.jp / 044-270-6640)